

みんなの

ちいきふくし

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

社協だより

vol.57



CONTENTS

- 福祉の支えあいフォーラム in 総社 2018 … 2
- サポーター養成講座／松寿会／介護者の会 … 3
- 地域ニュース from 地区社協／
GO!GO! ボランティア …………… 4
- 障がい者基幹相談支援センター…………… 6
- 生活困窮支援センター／権利擁護センター“しえん”… 7
- ひきこもり支援 …………… 8
- 復興支援センター／赤い羽根共同募金 …… 9
- ハートフルそうじゃ／ひきこもり支援・総社のあゆみ… 12

福祉の支えあいフォーラム in 総社 2018 を開催しました!!



当日は、**803名**にご参加いただきました。
ありがとうございました。

福祉の支えあいフォーラム in 総社 2018 を開催しました！

平成30年12月2日（日）に、「福祉の支えあいフォーラム in 総社2018」を総社市福祉委員協議会と開催しました。当日は、803名の皆さまにご参加いただき、基調講演や実践報告を通じて、地域における「見守り・支えあい活動」の大切さを再認識する機会となりました。

支えあい活動感謝状の授与式がありました！

長年にわたり継続的に運営されている「ふれあいサロン」67サロン、「いきいき百歳体操」11会場を対象に、支えあい活動感謝状が、総社市福祉委員協議会（会長 山本繁氏）から授与されました。



【基調講演】

『みんなで創る地域の支えあいについて』

講師：厚生労働省 社会・援護局
社会福祉専門官 添田 正揮 氏



支えあいの重要性について、お話しいただくとともに福祉川柳で、「福祉」を分かりやすく教えていただきました

【実践報告】

テーマ：『総社市を元気にする支えあい活動』

<報告者>

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| ①ときわにここ食堂
河田 八千代 氏 | ④なっちゃん市
前田 千絵子 氏 |
| ②服部地区見守り活動
坂根 美喜子 氏 | ⑤夢のいち
池上 千恵子 氏 |
| ③久代地区三世代ふれあい交流
長谷川須美代 氏 | |



活動のきっかけや課題、今後の展望等について、ご報告いただき、地域を元気にする活動のヒントをいただきました！

会場ロビーには、各圏域で実施される福祉委員活動のポスター・作品展示を行いました！



【中央部北圏域】

【中央部南圏域】



【東部圏域】

【西部圏域】



【北部圏域】

介護予防・生活支援サポーター養成講座 を開催します！

高齢者等が安心して暮らせるための応援団になってくださる方を募集します。
日常生活での「ちょっとした困りごと」の解決に、皆さんのお力を貸していただけませんか？ お互いさまの支え合い活動を通じて、(ふ) 普段の(く) 暮らしの(し) 幸せを広げ、安心して暮らせる地域にしていきたいと思います！

～日程～

- 【第1回】 2月27日(水) 9:30～11:30
「超高齢社会の現状／支えあいを考える」
- 【第2回】 3月5日(火) 10:00～12:00
「高齢者の日常生活を支える取り組み(相談窓口編)」
- 【第3回】 3月12日(火) 10:00～12:00
「地域で取り組む介護予防・居場所を考える」
- 【第4回】 3月19日(火) 10:00～12:00
「にこにこサポーター活動を知る／コミュニケーションについて」
- 【第5回】 3月27日(水) 10:30～12:30
「市内に広がる支えあい活動の実践を学ぶ」
- 【第6回】 3月27日(水) 13:30～15:30
「講演：地域住民の支え合い！今 地域に求められること」



※会場は、総社市総合福祉センター内です！

ちょっと気になる方、ご関心のある方は、今すぐ！お声かけください！

お問い合わせ 総社市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL 92-8552

入会のご案内



総社市松寿会

65歳以上で、ひとり暮らしをされている方、
私たちと一緒に楽しい活動してみませんか？
主な活動は、交流会(七夕会・クリスマス会・
節分会)や移動研修会などです。これらの活動
を通じて、多くの人々との親睦を深めています。



総社介護者の会

- 一緒に活動してみませんか！！
- 介護者の会は、寝たきりや身体に障がいのある高齢者等を介護している方を対象に、介護者間での交流を図り、介護の『孤立防止』や『リフレッシュ』していただくことを目的とした団体です。
- 会員は随時募集しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



入会方法は、申込用紙に年会費1,000円を添えて、事務局までお申し込みください。

**お問い合わせ
お申し込み先**

総社市社会福祉協議会内 TEL 92-8552

「総社介護者の会」、「総社市松寿会」

総社地区社協



受け継がれるふれあいサロン

高齢者の憩いの場、活動の場が総社東地区にも必要との思いから、平成18年に宮本町とその近隣の8町の民生委員・児童委員が協議し、総社東地区のモデルとなるふれあいサロン「れんげサロン」を立ち上げることになりました。

年間計画を立て、毎月第3金曜日（9時から）総社分館で実施しています。

場所が公民館なので総社市内全域から、多いときで40～50人の参加者がありました。高齡化が進んだことや他地区のサロンの立ち上げ（現在、市内には22か所のサロンがあります。）が進み、参加者も減少していきました。

現在は、地域の福祉委員、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会の協力を得て継続しています。

健康や医療に関する出前講座や野外活動（グラウンドゴルフ）は人気があり参加者が多いです。先日行われた講師を招いてのフォークダンス講習では、若い頃の記憶がよみがえり、心の弾む活動になり参加者は楽しそうでした。

サロンを必要とする人がおられる限り、内容をより充実させ、地域の憩いの場として継続していきたいと思っています。



阿曾地区社協



阿曾ほっとカフェ開店

平成30年4月26日（木）「阿曾ほっとカフェ」が西阿曾公会堂に開店しました。主に地域の高齢者の皆さんが気軽に利用し、寄り添える文字通りホットなカフェを願い、オープンしたものです。

当面、偶数月の第4金曜日（10時から3時までの5時間）、地域スタッフがお相手しています。カフェでは、コーヒーなどの飲み物をお菓子付き100円で提供、恒例の百円市は阿曾産の野菜や手作り品を取り扱い、加えて弁当も販売、毎回好評です。

何よりありがたいのは、阿曾地区社協、東部北地域包括支援センターの力強いバックアップです。とくに12月はクリスマスイベントを開催、三清荘の職員や県立大学の学生さんまで技を披露してもらい、大いに盛り上げていただきました。

身近な場所で身近なお顔に囲まれて和やかなひと時を共にします。それぞれの年齢から来る相談事などは地域包括支援センタースタッフの笑顔とアドバイスに支えられています。阿曾の皆さんの心温かい協力もいただき、より充実した2年目を目指します。偶数月の第4金曜日です。お気軽にお立ち寄りください。



昭和地区社協

恒例の「ふるさと」弁当交流会

小学生の福祉活動に対する理解と、ふるさとを愛する気持ちを養うため、昭和地区社会福祉協議会が実施している、ひとり暮らし高齢者の皆さんへの月一度の弁当づくりを昭和小学校のこともたちで経験してもらっています。

本年は、7月6日深夜から7日未明において昭和地区各地を襲った豪雨災害の被害に遭い、通常使用している昭和公民館調理室が使用不可能となり、

学生との交流会の可否が不安視されました。10月実施予定の地元小学生との交流会の可否が不安視されました。

たまたま7月、8月は計画から外していましたが、9月実施は？と実施の可否を考えなければなりません。関係者が熟慮の結果、9月はやむなく中止！しかし、10月は小学校行事に組み込まれており、このもちの楽しみであり中止することはならない！との結論から、小学校の調理室を使用して実施することとなりました。

しかし、場所の制約等から毎月実施の約150食は困難でした。交流会へ参加いただける高齢者、ごもたち分のみとし、残念でしたが自宅への配達是我慢していただくこととしました。

ごもたち34名は、交流会へ参加された高齢者22名に対して、特に心がこもった接待、礼儀、マナー等心配りが見受けられました。

交流会の計画、役割、進行等すべてをごもたちが受け持ち①クイズ、②じゃんけん大会、③歌、などの披露があり、また食事をしながらのグループ内での昔話、若い時代の地域状況等、短時間でしたが途切れることなく会話が弾みま

した。正解者、優勝者にはごもたちから特製のメダルが渡され、「地域の孫・ひ孫から未来の力を注入された」と地域の高齢者の皆さんは非常に喜び、感謝感激の言葉が多数聞かれました。

今回は、お弁当に添えている「全校児童からの高齢者に対する思いやりの言葉、時節に合った添え絵」等に対して高齢者からの感謝メッセージが披露され、ごもたちも聞き入っていました。

「ふるさと愛」を相互に確認するなかで「次回の出席を楽しみにして、これからも強く生きたい」と決意された皆さんでした。



市内のボランティアグループが表彰されました！

厚生労働大臣表彰 「かなりやの会」

かなりやの会は、平成7年にボランティアセンターに登録され、地域のふれあいサロンや各種施設にて、演奏とともに歌声をお届けするコーラスグループです。

平成30年11月、その功績が認められ、「ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰」を受賞されました。



優良読書グループ表彰 「さつき会」

さつき会は昭和56年にボランティアセンターに登録され、市報や社協だよりの録音や図書テープの作成（現在まで、12,300巻）、各種施設にて様々な活動をしています。

平成30年10月、その功績が認められ、公益社団法人読書推進協議会より、全国の優良読書グループとして表彰されました。



平成30年12月1日(土)

障がい福祉フォーラム ハートフルそうじゃ ～ささえ愛のまち そうじゃ～を開催しました

(場所：総社市総合福祉センター・保健センター)

12月3日～9日は障害者週間です。総社市地域自立支援協議会では、障害者週間に合わせて、障がい福祉フォーラムを開催しています。昨年、総社市は50年に1度とも言われる西日本豪雨災害を受け、地域の一員として改めて、人と人との支えあい大切だということを感じました。そして、障がいのある人も支えられるだけでなく、支える側にもなれるという意味を込めて「ささえ愛のまちそうじゃ」というテーマになりました。

西日本豪雨災害を受け、障がいのある方への支援の在り方が課題となりました。

そこで、被災した障がい者を支援している“ゆめ風基金”事務局長の八幡隆司氏に災害時に障がいのある方に対し、個人・家族・地域でできることをお話しいただきました。



その他にも体験コーナー、福祉作業所による販売コーナー、寄せ植えワークショップ、療育紹介コーナー、子どもたちも楽しめるプレイゾーンなど、さまざまなブースで皆様と楽しい時間を共有できました。また、今年も『コラボごはん』と称し、障がいのある方が自分たちで作り、収穫した野菜で作ったお雑煮を提供し、「美味しい!」と言ってもらうことが出来ました。

今年は約400名の地域の方にご来場いただきました。さまざまなブースを回っていくと、障がいのある方もない方も共に楽しむ姿が多くみられ、地域の中の一員として生きていることに改めて気づかされました。このイベントを通じて、障がいについて少し関心を持ち、知っていくことから始めていただきたいと思います。



4月2日は国連で定められた「世界自閉症啓発デー」です。また、日本では4月2日～8日を発達障害啓発週間としています。この週間に合わせて、備中国分寺が啓発カラーの青色にライトアップされます。

期間中、市役所1階ロビーでは当事者によるアート展を予定しています。ぜひ、お立ち寄りください。



生活困窮支援センター

平成30年度フードドライブを開催しました！！

平成31年1月26日（土）10:00～13:00にフードドライブを開催しました。この事業は平成28年度から毎年開催しています。今年度も、昨年度と同様に、ふくしネットそうじゃ（総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）、おかやまコープと合同開催となりました。

今回のフードドライブでは、24の法人および個人から、総重量約264.3kgの食料品をご寄付いただきました。ご寄付いただいた食料品は本センターを通じて、食料支援が必要な方へ提供させていただきます。ありがとうございました。



食料品：633品目（総数 1,314品）

食品分類	個数	総重量
米・穀物類	1	0.17kg
乾麺・小麦粉類	92	38.13kg
菓子類	181	10.97kg
乾物・ふりかけ類	71	4.77kg
インスタント食品	267	21.34kg
缶詰・瓶詰	93	14.9kg
調味料類	93	32.80kg
飲料類	229	92.50kg
パックご飯・もち	24	3.27kg
茶葉・コーヒー豆	68	7.99kg
防災備蓄食料	47	4.14kg
レトルト食品	137	31.45kg
その他	11	1.66kg

食料品のご寄付は随時、生活困窮支援センターで受け付けています

連載 第20回

「相続法の改正
何がどう変わる？」



総社市権利擁護センター “しえん”
弁護士 小田 弘昭

平成30年7月に、相続法（相続に関する法律）が約40年ぶりに改正されました。高齢化の進展など社会環境の変化に対応するため、大きな見直しがなされています。そこで、主な改正内容について簡単にご紹介します。

- ① 配偶者の生活への配慮等の観点からの改正
死亡した被相続人が所有する自宅にその配偶者が相続開始時に居住していた場合、配偶者は、遺産分割や遺言等により、終身又は一定期間、その自宅に居住できる「配偶者居住権」という権利を取得できるようになりました。配偶者居住権は、完全な所有権とは異なり制限がある権利のため、その評価額を低く抑えられるので、配偶者は、居住するために自宅の所有権を相続する場合と比べて、預貯金などの他の財産を多く取得できます。
また、婚姻期間が20年以上の夫婦間における居住用不動産の贈与等に関する優遇措置が設けられました。
- ② 遺言の利用の促進、相続をめぐる紛争防止の観点からの改正
自筆証書遺言に添付する財産目録をパソコン等で作成することができるように自筆証書遺言の方式が緩和されました。また、法務局における自筆証書遺言の保管制度が創設されました。
- ③ その他の改正
上記の他にも、預貯金の払戻し制度の創設、遺留分制度の見直し、被相続人の介護や看病で貢献した者が相続人でない場合に相続人に対する金銭請求が可能になる特別の寄与の制度の創設、遺産分割、遺留分の制度の見直し等、様々な改正が行われています。

※紙面の関係で、改正内容全てを詳細に解説することはできませんが、詳しく知りたい方は、法務省のウェブサイトにて改正のポイントをまとめたパンフレット等の資料が公開されていますのでそちらをご覧ください。なお、改正内容ごとに施行日が異なりますのでご注意ください。

総社市ひきこもり支援センター ワンタッチ

総社市ひきこもり支援センター「ワンタッチ」では、ひきこもり状態の方とご家族の相談支援、居場所支援を行うほか、居場所運営をお手伝いいただき、ひきこもりサポーター「ほっとも」の養成、ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」への支援等を行っています。また、ボランティアや就労体験等を希望される当事者への同行支援等も行っています。

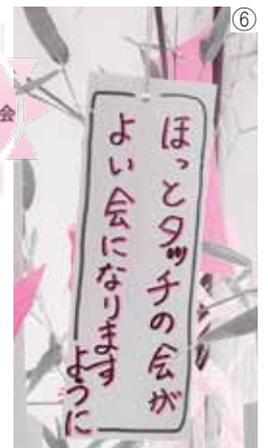
平成30年度は、7月に居場所「ほっとタッチ」が開所し、8月に家族会が設立されました。居場所で開催する季節のイベントには、毎回沢山の当事者が参加され、12月には当事者と家族会、ほっともの合同クリスマス会を開催し、にぎやかな1年となりました。次年度も、当事者、家族、ほっともの皆さんと様々なことに取り組んでいきます。

TEL : (0866) 92 - 8597 FAX : (0866) 92 - 8284
E-mail : soudan@sojasyakyo.or.jp



①ハートフルそうじやで展示する「ワンタッチ」の紹介パネルを当事者と作成しました。②当事者とほっともで居場所に花を植えています。庭がにぎやかになりました。③クリスマスツリーをほっともとその家族が作成。④当事者、家族会、ほっともの合同クリスマス会。皆さん素敵な笑顔です。

⑤ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」が平成30年8月16日（木）に設立されました。10月18日（木）には、設立記念式典を行いました。⑥家族会で旧暦の七夕に、短冊を書いて飾りました。⑦就労体験中。集中して作業に取り組んでいます。⑧当事者が、地域の方の玉ねぎ収穫をお手伝いしました。⑨ほっとものスキルアップ研修。発達障がいの特性を体験中です。



被災者見守り・相談支援事業

総社市復興支援センター

相談 つとカフェ

◆日時◆
毎週水曜日 14時～16時

◆場所◆
昭和公民館 1階 会議室

温かいものを飲みながら、お話をして過ごしています。生活再建の手続きや、生活再建や健康等に関する相談もお受けしています。



水色ののぼりが目印

総社市復興支援センターは、総社市から「平成30年7月豪雨における総社市被災者見守り・相談支援事業」を受託し、被災された方の見守り訪問や、地域の中での居場所づくり、集いの場の情報提供等を行っています。

情報コーナーを設置しています!!

復興支援センターのある総合福祉センターのロビーには、総社市内だけでなく、市外の復興支援に関する情報も集めて提供しています。

どなたにもご活用いただけます。

また、気になることは復興支援センターへお問合せください。

最新情報は、総社市社会福祉協議会のホームページやFacebook、Twitterをご覧ください。

【総社市復興支援センター】

総社市中央一丁目1番3号（総社市総合福祉センター内）

☎ 92-8574 FAX 94-0089

総社市社会福祉協議会

検索

ゼロのつく日は… まるカフェへ!!

◆日時◆

毎月10日・20日・30日 11時30分～

◆場所◆

西仮設集会所

茶話会やお昼ご飯をみんなで一緒に食べて過ごしています。



1月から相談員になりました、三宅です。よろしくお願ひします。



赤い羽根共同募金



平成30年10月1日から12月31日までの期間中、皆様方からあたたかいご協力をいただき、ありがとうございました。

ご協力いただきました募金は、市内の地域福祉活動をはじめ、災害復興支援や福祉施設の備品整備などに活用されます。

今後も赤い羽根共同募金にご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

ご協力ありがとうございました!



平成30年度 あおぞら保育園に遊具が設置されました

平成30年度の被表彰者（福祉部門）

多年にわたり功労のあった方々が表彰されました。
心からお祝い申し上げます。

◎厚生労働大臣表彰

かなりやの会

◎全国社会福祉協議会長表彰

佐々井伸子

◎中央共同募金会長表彰

総社地区社会福祉協議会

◎佐野裕二

◎岡山県知事表彰

神在地区社会福祉協議会

◎秦地区社会福祉協議会

◎岡山県保健福祉部長表彰

山手地区社会福祉協議会

清音地区社会福祉協議会

◎佐野裕二

◎岡山県社会福祉協議会長表彰

河原美智子

◎高谷智子

◎岡山県共同募金会長表彰

小林典子

◎吉澤久美子

◎岡山県老人クラブ連合会長表彰

白神美忠

◎小槇太郎

◎総社市長表彰

若原美津子

友野貴子

森多恵子

難波作吉

坂本邦生

関口昇

佐田野高弘

河田綾子

平田百合子

秋山朋子

難波和子

坪井利江

本行とみ子

土家美佐枝

角田ヒロミ

◎内藤晃

石井雅子

平田みはる

◎藤田勲

山邊成子

◎宍粟親交クラブ

要約筆記吉備うさぎ会

◎のびのび会

大正琴 夕月の会

◎三輪ボランティア

◎総社市社会福祉協議会長表彰

小川忠信

◎平松昭

井上憲司

◎横田由之

樋口孝弘

◎中山克己

樋口長郎

◎河田八千代

松藤早苗

◎池上千恵子

池上美枝子

◎文屋秀雄

川田一馬

◎大村稔

金澤耕史

◎神崎敏光

大角真理子

◎平田美穂子

光畑嘉代子

◎江口豊子

中村恵子

◎難波美昭

山本祥子

◎横田久子

安田聖子

◎吉本良雄

福岡すま子

◎林多賀子

千田礼子

◎黒瀬晴美

友野玲子

◎中野恵美子

◎永田正子

◎西森美佐子

◎平木ひろ子

◎浅野間泰恵

◎横田通恵

◎山本房江

◎水畑房子

◎栢野祐子

◎小野祐喜子

◎横田慧子

◎中川タエコ

◎渡邊哲男

◎内山克良

◎平田邦彦

◎小倉延行

◎竹内召子

◎剣持雅久

◎加百知津子

◎服部長寿クラブ

◎見延福寿会

◎楨谷長寿クラブ

◎井尻野和楽会

◎感謝状

あかいやね

◎総社点訳の会

◎さくらんぼ

◎川崎医療福祉大学ワンピース

◎ママブック

◎やまておはなしポケット



(敬称略)



平成30年12月27日(木)に、「丸紅福祉財団」様から、車両をご寄贈いただきました。ありがとうございました。
この車両の愛称を、「よりそいっぴい」とし、市内の災害復興支援活動をはじめ、地域福祉活動等に大いに役立たせていただきます。

※ご了承をいただいた方についてのみ、紙面上に寄付金額を掲載させていただいております。



種別	金額	寄付者	住所
香典返し	50,000円	川上 智嗣 亡父(國男)	長良
歳末たすけあい	もち米 50,000円	國府 浩富 角田 悦男	総社 窪木
篤志品	米 30kg テレビ、冷蔵庫、洗濯機 米 435kg	夢の家 縁 寺島 直之 瑞泉院 高原妙泉	総社一丁目 総社二丁目 岡山市中区平井
一般寄付 (災害復興支援)	16,570円 50,000円 11,629円 40,000円 20,401円	山手小学校 PTA 常盤地区福祉委員会 勤労青少年ホームオータムフェスタ 山手小学校児童会 岡山市立京山中学校	岡谷 真壁 中央三丁目 岡谷 岡山市北区津島京町

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載しておりません。

寄付者	住所	寄付者	住所	寄付者	住所
▽香典返し					
枝松 敏士	亡母(芳子) 下原	秋山 清志	久代	西野 富野	亡夫(精) 種井
難波 英子	亡母(教俊) 南溝手	劔持 誠	西郡	三上 雅弘	亡母(久江) 久米
木口 智視	亡母(康恵) 山田	福田 崇	山田	加藤 政文	亡父(悟) 総社一丁目
秋山 浩三	亡母(伊志子) 岡山市北区小山	東 健治	山田	神崎 聡一	亡母(敬子) 日羽
友野 伸樹	亡母(豊子) 岡谷	河原 利則	福谷	川野 勝	亡母(幸子) 見延
山谷 勝	亡妻(美保子) 清音軽部	浅野 達男	久代	新谷 浩市	亡父(和男) 下林
風早 孝行	亡父(芳郎) 地頭片山	板野 和美	秦	▽歳末たすけあい	
板野 順一	亡母(辰江) 秦	野瀬 哲弘	秦	グリーンアンドリバーホーム	清音三因
眞賀里道治	亡母(智慧子) 井尻野	堀金 愛子	中原	岡山県立大学売店利用者	窪木
狩山 京一	亡妻(陽子) 中央一丁目	高上 豊敏	下倉	(オギノ商事)	
松浦 敏照	亡妻(恵美子) 山田	板野 耕一	秦	▽一般寄付(災害復興支援)	
坪井 章	亡父(正史) 山田	高林圭一郎	総社	八幡市民生児童委員協議会	京都府八幡市
川鱈 仁宣	亡祖母(都子) 原	小原 典子	新本	総社フォークダンスクラブ	山田
樋口 憲生	亡父(弘) 美袋	山本 孝允	黒尾	山手地区社会福祉協議会	地頭片山

(平成30年10月21日から平成31年1月20日まで 敬称略)

事務局長



Topics

災害復興支援に
感謝を込めて

歌手のさだまさしさんに災害復興支援の感謝のハガキを送りました。このハガキは、平成31年元旦に放送されたNHKの番組「年の初めはさだまさし」で読んでいただきました。心から感謝いたします。

さださん、7月の西日本豪雨災害では、本当に温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。特に、猛暑の中、現地で泥出しや家具出しの重作業に加え、被災した子どもたちのために勉強や遊び相手を行う活動「みんなのライオンカフェ」を行った総社市の高校生活躍を「総社モデル」と名付け、大きく称賛してくださいました。そして、その活動を称えるために高校生の代表を「高校生ボランティア・アワード2018」にも招待してくださいました。

また、9月には被災地にもお越しいただき、鎌田實先生と復興支援コンサートや講演会も開催していただきました。参加された被災者の方は、勇気と元気をいただき、涙を流して喜ばれました。

私たち総社市民は、この度の災害で本当に辛い思いをしました。でも、全国から来ていただいたボランティアの皆様のおかげで、「総社モデル」で力強く復興しています。私たちは、さださんや鎌田先生からいただいた人間愛を決して忘れることはありません。本当にありがとうございます。

ハートフルそうじゃ

～ささえ愛のまち そうじゃ～

ハートフルそうじゃは、地域の皆様からご寄付いただいた「赤い羽根共同募金」の支援を受けています。皆様からの温かいご支援で、笑顔で楽しく開催することが出来ました。本当にありがとうございました。
(6 ページに関連記事)

● ● ひきこもり支援の報告書 ● ●

「ひきこもり支援・総社のあゆみ—行政と社協の協働体制—2018」
発行：平成 30 年 12 月

ひきこもり支援等検討委員会

頒布価格：500 円（郵送の場合は 1 ～ 5 冊まで送料 360 円）

センター開設に至るまで、そしてセンター開設からこれまでの 3 年間の取り組みをまとめました。これからひきこもり支援に取り組もうと考えている方の参考になればと思います。

皆さまのひきこもり支援に是非ご活用ください！

電話・メール・お申込みフォーム（QR コード）にて
お問合せ・お申込みください！
総社市ひきこもり支援センター“ワンタッチ”
TEL：0866-92-8597 E-mail:soudan@sojasyakyo.or.jp

